

# 土着カブリダニ類が存在すると気門封鎖剤は効果的に リンゴハダニの発生を抑制する

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

## 1 部門名

果樹—リンゴ—病害虫防除

## 2 担当者名

中村傑、吉田昂樹、中村淳

## 3 要旨

ハダニ類に対する各種殺ダニ剤の効力低下が懸念されており、抵抗性発現リスクの低い持続可能な資材の導入が求められている。そこで、リンゴほ場において、リンゴハダニに対する気門封鎖剤（プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル乳剤）の効果を検討したところ、気門封鎖剤散布時に土着カブリダニ類が確認されたほ場では、高い抑制効果が得られた。

(1) 気門封鎖剤は、散布時に土着カブリダニ類が確認されたほ場では、リンゴハダニの高い抑制効果が得られた（図1）。一方、散布時に土着カブリダニ類の生息が確認されなかったほ場では、リンゴハダニの抑制効果が低かった（図2）。

(2) 土着カブリダニ類の生息は、リンゴハダニの寄生葉をルーペで観察すると確認できる。

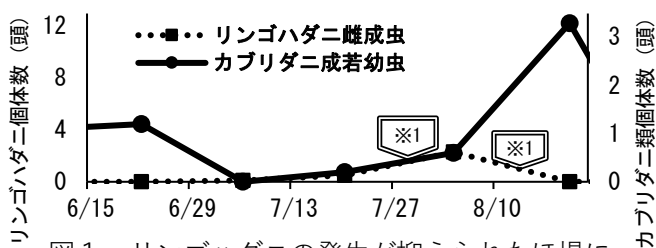


図1 リンゴハダニの発生が抑えられたほ場における個体数の推移（2021年）

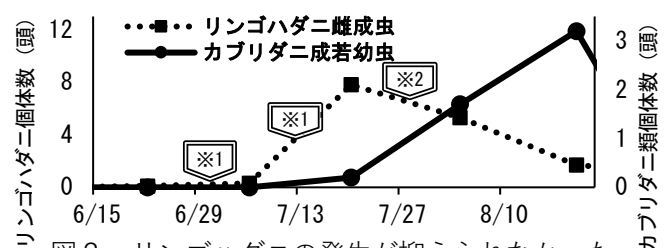


図2 リンゴハダニの発生が抑えられなかったほ場における個体数の推移（2021年）

注1) 各区5樹、1樹当たり20葉を採取しリンゴハダニ雌成虫及びカブリダニ類成若幼虫の個体数を調査した。

注2) 図1と図2の試験ほ場は隣接園であり、園主は異なる。殺虫剤及び殺菌剤の散布は現地防除暦に準じた。

注3) ※1は気門封鎖剤（カブリダニ類への影響が少ない）、※2はスピロメシフェン水和剤（カブリダニ類卵への影響がある）の散布を示す。

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成27～令和7年度

(2) 研究課題名 安全で効率的な新農薬・新資材等の実用化（福島県植物防疫協会委託試験）

## 5 主な参考文献・資料

(1) 佐藤力郎, フツウカブリダニと気門封鎖剤によるリンゴハダニの防除効果, 北日本病害虫研究会報, 70, p216., 2019.